



学校だより

3月号

令和8年2月27日
江戸川区立瑞江小学校

子どもを育てる地域の力

校長 牧岡 優美子

先週は1週間に9℃～23℃と大きな差があり、衣服を選ぶのも迷うような気温でした。これは三寒四温なのでしょうか、例年よりも早いように感じます。気象庁から桜開花予報も出ています。東京は3月22日（日）とのこと、卒業式にソメイヨシノが間に合うのでしょうか。瑞江小の校庭にはカンザクラ、ソメイヨシノ、ヤエザクラが植えられており、順番に花を咲かせてくれます。卒業式は、6年間お預かりした子どもたちを中学へ進学させる旅立ちの式！学校にとってとても大切な行事です。学校では連日「6年生を送る会」「お祝い給食」「感謝の会」など、卒業する6年生をお祝いする行事の準備が続いています。

さて、今週までに児童用iPadの回収がありました。これは新しいiPadとの交換のためです。これまで子どもたちが学用品として使ってきたiPadは、国のGIGAスクール構想によって江戸川区から貸与されたものです。5年間のリース期間が終了し、3月からまた新しいiPadが貸与されます。思い返せば、iPadの活用スタートはコロナ禍で、もう5年前になります。突然の1人1台のiPadが配られて「明日から学用品の1つとして、毎日使います」と言われ、みんなで混乱した日から5年！今では1～6年生が日常使用する道具になりました。瞬間を逃さない写真記録や、意見を送り合って交流する広場など、それまでの学習活動とは違う効果が増えました。家庭とつなぐオンライン授業の配信や、学びを視覚化できるプログラミング学習など、今の時代を生きる子どもたちに不可欠な取り組みも普通になりました。江戸川区がタブレット端末にiPadを選んできたことも大きく、様々な機能を取り入れることができました。来年度はその先へ教育活動を進められそうです。

ところで、本校が所属する瑞江地区には、年間を通して子どものための行事がたくさんあります。他地区でも様々な子どもの行事はありますが、少年野球大会、各町会の夏祭り、瑞江地域運動会、東部地域祭、餅つき大会、ネオホッケー大会など数が多く、毎月のように行事が続きます。2月15日（日）には、今年のネオホッケー大会がありました。第37回、長い歴史がある地域の大切な行事です。当日は、多くの保護者、地域の皆さんが駆けつけ、全力で戦う子どもたちの姿に惜しめない拍手を送ってくださいました。結果は低学年が優勝と準優勝、高学年が準優勝と第3位、練習の成果を発揮して頑張りました。瑞江地区が子どもたちを地域で育てようとしてくださることに、改めてありがたいと感じました。

最後になりますが、今年度、本校の様々な教育活動に多大なご支援・ご協力を賜りました保護者、地域、学校関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

